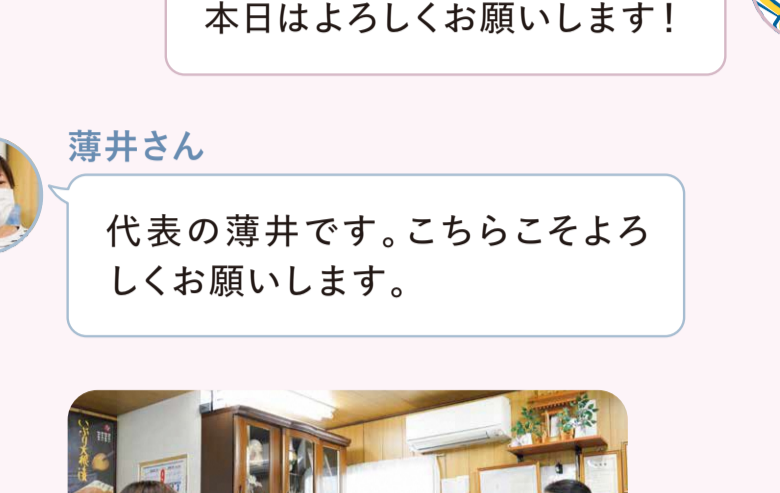
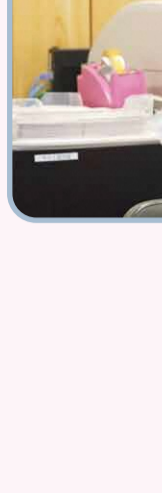




仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。学園のメンバーが人生の『パイセン』に、仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いてみました!

有限会社ゆめ企画 須藤健太郎商店

今回サキホコレ学園Dチームが訪れたのは、ゆめ企画 須藤健太郎商店。今、全国的に人気が高まっている「いぶりがっこ」を作る会社です。女性で代表を務めている薄井さんが取材に応じてくれました。どんな話が聞けるか楽しみです!



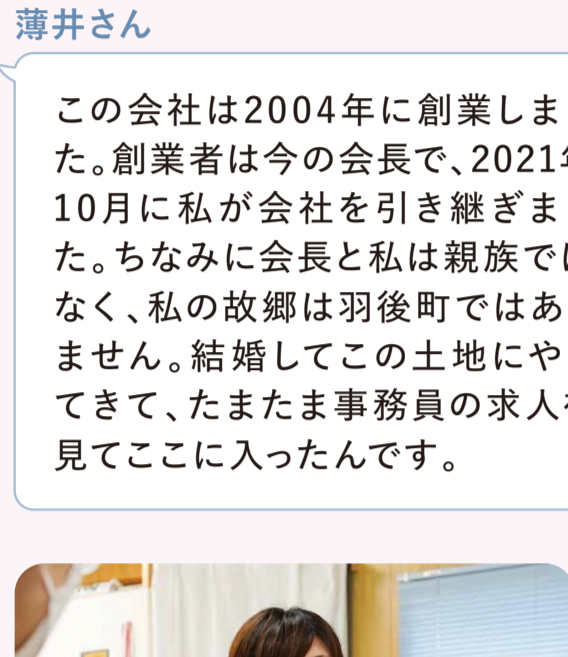
薄井さん

Dチーム

本日はよろしくお願いします!

薄井さん

代表の薄井です。こちらこそよろしくお願いします。



Dチーム

はじめに、ゆめ企画の沿革について教えてください。

薄井さん

この会社は2004年に創業しました。創業者は今の会長で、2021年10月に私が会社を引き継ぎました。ちなみに会長と私は親族ではなく、私の故郷は羽後町ではありません。結婚してこの土地にやってきて、たまたま事務員の求人を見てここに入ったんです。



Dチーム

不思議な巡り合わせですね。ゆめ企画の主力商品についても教えてください。

薄井さん

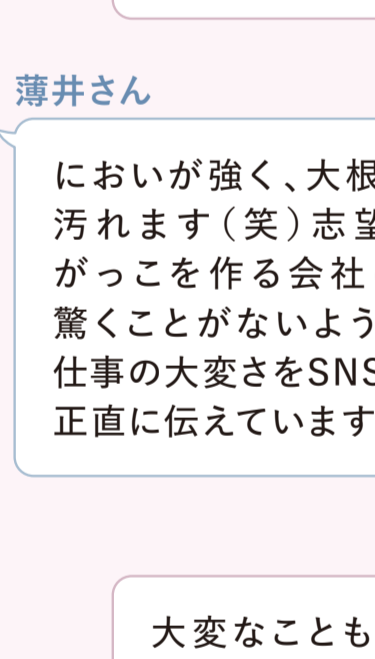
羽後町の家々で受け継がれてきた味を忠実に再現したいぶりがっこです。その昔、東京の居酒屋でいぶりがっこを口にした会長が、地元のものとの味が全然違うことに驚き、県外の人に本来のおいしさを伝えるために作り始めました。何よりも伝統の製法にこだわっています。

Dチーム

伝統の製法とはどのようなものですか?

薄井さん

米ぬかをたっぷり使い、砂糖と塩だけで100日以上漬けて、大根の水分を絞って熟成させる作り方です。効率の良い作り方はないため、大量に生産できないのが悩ましい点です。



Dチーム

ここでは現在何名の方が働いていますか?

薄井さん

今は6人です。

Dチーム

男女比と平均年齢はどうなっていますか?

薄井さん

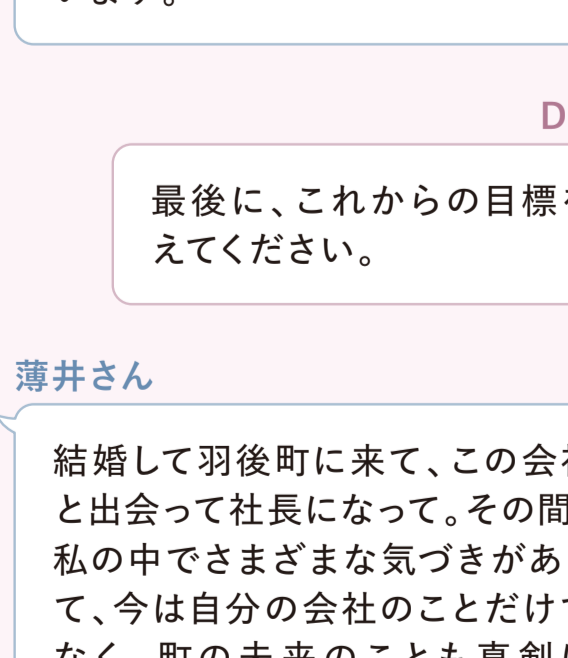
男性が1人、女性が5人で平均年齢は高めです。

Dチーム

若い担い手の獲得に向けて、何か取り組んでいることはありますか?

薄井さん

新しい世代に興味をもってもらえるよう、中学生に向けた講演や高校生向けの企業説明会に参加したり、地元小学校や学生またはその親御さんの工場見学なども積極的に受け入れています。



Dチーム

なるほど。ここで働く上で、予め知っておくべきことはありますか?

薄井さん

においが強く、大根は重く、服は汚れます(笑)志望者がいぶりがっこを作る会社に入ってから驚くことがないように、私はこの仕事の大変さをSNSなどを通して正直に伝えています。

Dチーム

大変なこともあえて発信しているんですね。従業員のワークライフバランスを保つため、何か取り組んでいることはありますか?



薄井さん

従業員の中には、お孫さんの世話や親御さんの介護をしながら働いている人もいますので、短時間勤務やスライド出社を認め、できる限り従業員の生活面や健康面に無理がかからないよう配慮しています。

Dチーム

薄井さん自身のプライベートはどうですか?社長という立場になってから、何か生活のスタイルに変化はありましたか?

薄井さん

もともと仕事が基本で、その合間に家庭のことをやる感じだったので、あまり変化はなかったですね。最近、地元の食と農のつながりを意識した新しいチャレンジ、“冷やし焼きいも店”も始めたので自分の時間はさらに少なくなりましたが、その分、充実感や達成感はより大きくなっています。

Dチーム

休みの日は何をしておすごしていますか?

薄井さん

友人に会いに行ったり近況報告をし合うことが多いですね。人と話すことがいいリフレッシュになっています。

Dチーム

最後に、これからの目標を教えてください。

薄井さん

結婚して羽後町に来て、この会社と出会って社長になって。その間、私の中でさまざまな気づきがあって、今は自分の会社のことだけでなく、町の未来のことも真剣に考えるようになりました。羽後町には知る人ぞ知る魅力がいっぱいあって、最近は新しい試みを始めよう人も増えてきているんです。そんな魅力あふれる地元を、町の人と力を合わせて広くPRしていくことがこれからの目標です。

Dチーム

私たちが応援します!頑張ってください!

いぶりがっこの未来、会社の未来、そして自分が暮らす町の未来まで見据えて行動している薄井さんがとにかく格好良かった!新しいことにチャレンジしたり、やりがいのある仕事をしたりするのに場所は関係ないという頑を、あらためて教えられた気持ちになりました。私達も頑張らなくちゃ!